

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対するリスク低減卵巣卵管切除症例の検討
	研究目的	<p>遺伝性乳癌卵巣癌（Hereditary Breast and Ovarian Cancer : HBOC）症候群は、BRCA1/2 遺伝子の生殖細胞系列変異を原因とし、乳癌や卵巣癌が発生しやすくなる常染色体優性遺伝性疾患である。BRCA1/2 変異保持者では、卵巣癌、卵管癌および腹膜癌のリスク増加が認められる。これらは確実な早期発見法がなく、進行卵巣癌の予後が不良なため、HBOC と診断された場合、出産終了後のリスク低減卵巣卵管切除術（risk reducing salpingo-oophorectomy: RRSO）が選択枝となる。</p> <p>当院では 2014 年から自費で開始された。2020 年 4 月から癌罹患の患者に対し保険適応となり、症例も蓄積されてきたため、その臨床的特徴等を検討する。</p>
	研究対象者	2014 年 5 月から 2022 年 12 月に当センター婦人科でリスク低減卵巣卵管切除術を実施した方。
	研究期間	西暦 2021 年 12 月 13 日～西暦 2033 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他（手術動画） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	近内勝幸
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし